

〈 CIPP 〉

管更生システム

スルーリング工法

- ① 国内で開発された技術であり、安定した品質の材料、施工の提供ができる。
- ② 非開削で老朽管の機能回復・耐用年数の向上・補強ができる。
- ③ 目的・条件により構造設計を行い、目的に応じた老朽管の更生ができる。
- ④ 老朽管の問題点(腐食、クラック、浸入水や木の根の侵入、等)を完全に解決できる。
- ⑤ 更生管厚を調節することにより、自立管・二層構造管に対応することができる。
- ⑥ 下水道管(取付管と本管接合部を含む)を一体化更生することができる。
- ⑦ 特殊施工(大径管、内圧管、曲がり及び急勾配配管、等)ができる。

非開削で、 くらしの中のあらゆる パイプラインを甦らせてます。

現在使用されている様々なパイプラインは、老朽化が進んでおり、特に内部腐食、クラック、接合部からの漏水、浸入水等の多くの問題を抱え、早急な修繕および再構築が必要です。

スルーリング工法は、このような多くの問題を抱え老朽化したパイプラインを非開削で更生する技術です。

スルーリング工法協会

本部事務局

〒111-0032 東京都台東区浅草三丁目35-1
TEL.03-3873-6915 FAX.03-3873-6916

東日本事務局

〒299-0115 千葉県市原市不入斗1566-1-3F (株)シーシーエス内
TEL.0436-60-6780 FAX.0436-60-6780

中部・関西事務局

〒529-1204 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外409-1 ラック(株)内
TEL.0749-37-3590 FAX.0749-37-3595

西日本事務局

〒879-5514 大分県由布市挾間町七蔵司807-1 (株)太一内
TEL.097-586-3291 FAX.097-586-3292

URL: <http://throughring.jp/>

●お問い合わせ、ご用命は…

〈 CIPP 〉

次世代につなげるパイプライン

スルーリング工法



下水道

農業用水

工業用水

上水道



スルーリング工法協会

プレッシャーパイプライン更生

安全な水に欠かせない確かな技術...



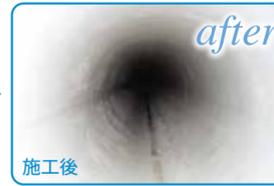
- パイプラインの耐用年数の向上
- 老朽管の機能回復
- 耐久性の向上
- 流下能力の向上



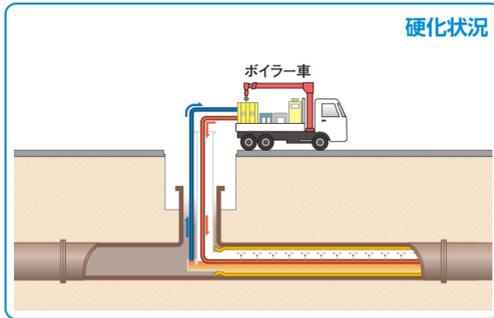
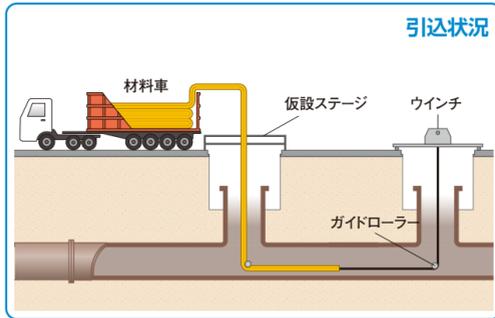
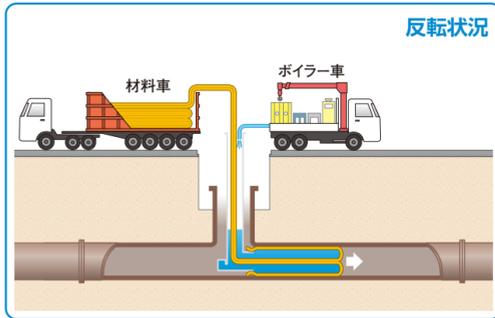
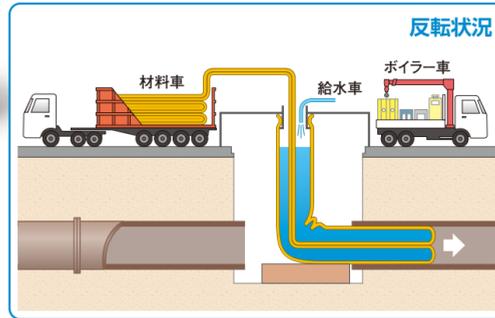
●農・工業用水・上水道管 断面図 (プレッシャーパイプライン更生)



施工前



施工後

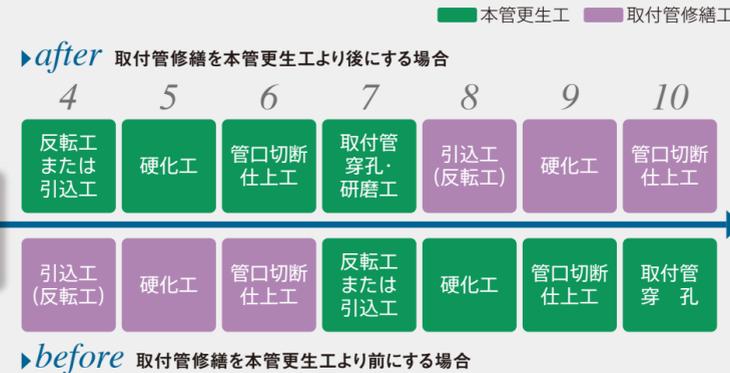
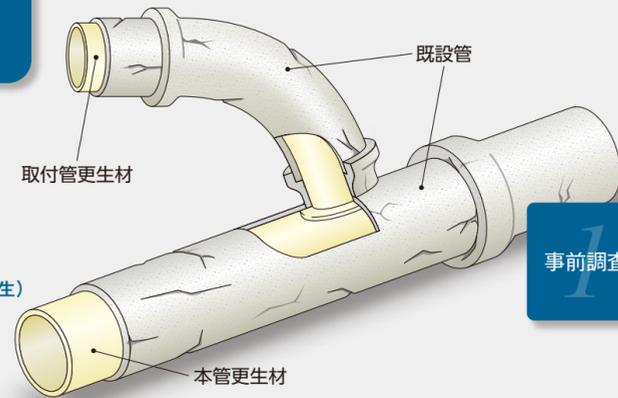


適用範囲	管種	鉄筋コンクリート管、陶管、鋼管、塩化ビニル管など
	管径	φ75~φ1800mm
	施工延長(1回)	φ700 400m(実績より) φ800 350m(実績より)
	内圧	使用圧力 0.5MPa 設計圧力 1.0MPa
タイプ	スタンダードタイプ	ポリエステルフェルト 100%
	高強度タイプ	グラスファイバー複合 ポリエステルフェルト

下水道の本管、および取付管を一体化更生

良好な環境で自然に還すために...

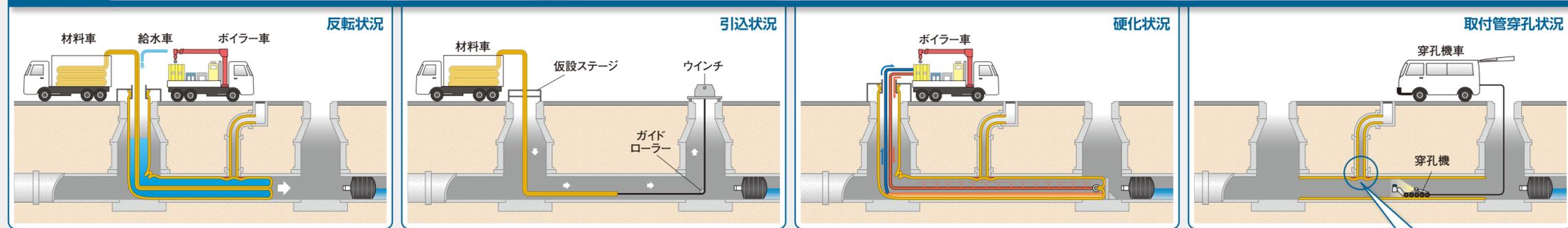
●下水道管 断面図 (一体化更生)



適用範囲	管種	鉄筋コンクリート管、陶管	
	本管	反転 呼び径 200~1200	
		形成 呼び径 200~ 800 未満	
	取付管	呼び径 100~ 200	
	施工延長	本管 反転 呼び径 200~ 800 未満	140m
		呼び径 800~1200 未満	80m
形成 呼び径 200~ 800 未満		90m	
	取付管	呼び径 15m	

※注記1:「管きよ更生工法における設計・施工管理の手引き(案)」(社)日本下水道協会に対応する適用管径は、以下のとおりとする。本管 呼び径 200~700
 ※注記2:「管きよ更生工法の耐震設計の考え方(案)と計算例」(社)日本下水道協会に対応する適用管径は、以下のとおりとする。本管 呼び径 200以上,800未満

本管



- パイプラインの耐用年数の向上・補強 (耐荷能力の向上)
- 老朽管の機能回復 (腐食、クラック、浸入水や木の根の侵入などの防止)
- 耐久性の向上(耐薬品性・耐摩耗性の向上)
- 流下能力の向上(粗度係数の向上)
- 本管、取付管のパイプライン全体の水密性能の向上



施工前



施工後

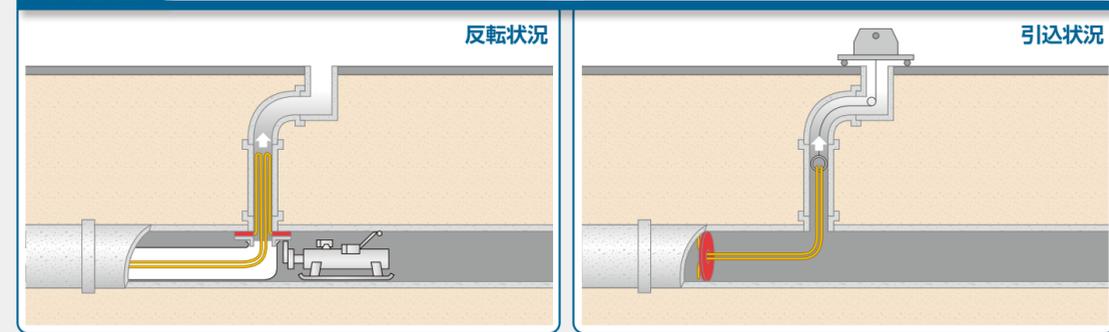


本管ライニング材



取付管穿孔後の一体化更生

取付管



アフターライニング 施工後



取付管ライニング材